学校番号	２０２

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」　（山川出版社）						
副教材等	詳説日本史１０分間テスト　日本史探究（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史資料に親しみ、歴史という時間軸を感じよう。
・過去の歴史的事実を正確に理解し、日本の現在と未来のあり方を考えよう。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持とう。
・日本と世界のつながりを見ながら、日本の政治・経済・文化などの特徴を理解しよう。

2　学習の到達目標

・日本の歴史の展開に関わる諸事情について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。
・日本の歴史における意義・伝統・文化の特色などについて、考察・構想する力をつけ、それらを説明・議論する力を養う。
・日本の歴史への学びを通して、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象をもとに、それらが日本のこれまでの歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	・日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 ・複数の資料の関係や違いに着目して、資料から読み取った情報の意味や特色などを考察し、表現している。	・「歴史総合」、「地理総合」における学習の成果を生かし、「日本史探究」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	原始・古代、中世	1. 日本文化のあけぼの 2. 古墳とヤマト政権 3. 律令国家の形成 4. 貴族政治の展開	a: 旧石器・縄文・弥生時代の人々の生活や文化、ヤマト政権による統一→律令国家の形成→平安時代にかけての社会の変化や人々の生活・文化について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 b: 旧石器・縄文・弥生時代の人々の生活や文化、ヤマト政権による統一→律令国家の形成→平安時代にかけての社会の変化や人々の生活・文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現し、必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。 c: 旧石器・縄文・弥生時代の人々の生活や文化、ヤマト政権による統一→律令国家の形成→平安時代にかけての社会の変化や人々の生活・文化に対する関心を高め、意欲的に探究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 記述の点検（ノート、ワークシート等）	記述の点検（ノート、ワークシート等） 行動の観察

		5. 院政と武士の躍進 6. 武家政権の成立 7. 武家社会の成長	a: :荘園制と武士の台頭、院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・発展・衰退にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について理解し、その知識を身に付けている。また、建武の新政・室町幕府・南北朝の動乱から戦国時代にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について理解し、その知識を身に付けている。 b: 荘園制と武士の台頭、院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・発展・衰退にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しており、必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。また、建武の新政・室町幕府・南北朝の動乱から戦国時代にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しており、必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。 ｃ：荘園制と武士の台頭、院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・発展・衰退にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。また、建武の新政・室町幕府・南北朝の動乱から戦国時代にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 記述の点検（ノート、ワークシート等）	記述の点検（ノート、ワークシート等） 行動の観察

2学期	近世、近代・現代	8. 近世の幕開け 9. 幕藩体制の成立と展開 10. 幕藩体制の動揺	a: 織豊政権から幕藩体制の確立、文治政治への転換から幕政改革の断行に至る社会の変化や支配構造、それぞれの時代の文化の特色などについて理解し、その知識を身に付けている。 b: :織豊政権から幕藩体制の確立、文治政治への転換から幕政改革の断行に至る社会の変化や支配構造、それぞれの時代の文化の特色などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。また、織豊政権から幕藩体制の確立、文治政治への転換から幕政改革の断行に至る社会の変化や支配構造、それぞれの時代の文化の特色などに関する必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。 c: 織豊政権から幕藩体制の確立、文治政治への転換から幕政改革の断行に至る社会の変化や支配構造、それぞれの時代の文化の特色などについて、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 記述の点検（ノート、ワークシート等）	記述の点検（ノート、ワークシート等） 行動の観察

		11. 近世から近代へ 12. 近代国家の成立 13. 近代国家の展開 14. 近代の産業と生活	a: 幕藩体制の崩壊から明治政府による近代国家の形成、立憲国家の成立と日清・日露戦争、さらに第一次世界大戦から十五年戦争に至る過程の政治・経済・社会の動向について理解し、その知識を身に付けている。 b: 幕藩体制の崩壊から明治政府による近代国家の形成、立憲国家の成立と日清・日露戦争、さらに第一次世界大戦から十五年戦争に至る過程の政治・経済・社会の動向について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。また、必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。 c:幕藩体制の崩壊から明治政府による近代国家の形成、立憲国家の成立と日清・日露戦争、さらに第一次世界大戦から十五年戦争に至る過程の政治・経済・社会の動向について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 記述の点検（ノート、ワークシート等）	記述の点検（ノート、ワークシート等） 行動の観察

3学期	近代・現代	15. 恐慌と第二次世界大戦 16. 占領下の日本 17. 高度成長の時代 18. 激動する世界と日本	a: 十五年戦争中の政治・経済・社会の動向や戦後日本の歩み、さらに石油危機の発生や冷戦後の世界情勢の推移と日本の対応について理解し、その知識を身に付けている。 b: 十五年戦争中の政治・経済・社会の動向、戦後日本の歩み、さらに石油危機の発生や冷戦後の世界情勢の推移と日本の対応について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。また、十五年戦争中の政治・経済・社会の動向や戦後日本の歩み、さらに石油危機の発生や冷戦後の世界情勢の推移と日本の対応について、必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。 c: 十五年戦争中の政治・経済・社会の動向や戦後日本の歩み、さらに石油危機の発生や冷戦後の世界情勢の推移と日本の対応について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト 定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 記述の点検（ノート、ワークシート等）	記述の点検（ノート、ワークシート等） 行動の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度